

Saturday

4/29

受章おめでとうございます

春の叙勲受章者をみなさんにご紹介します

4月29日付で、春の叙勲受章者が発表され、多久市から3人が受章されました。

いいもり やすと
飯盛 康登氏

長年にわたり地域の商業・工業の発展に精励した者に対する功績で旭日小綬章受章を受章されました。

飯盛さんは、多久市商工会発足当時から商工会活動に携わり、平成16年5月から多久市商工会会長、平成21年8月からは佐賀県商工会連合会会長に就任、現在も県下の商工業者を指導し、産業の振興、商工業の発展と地域の活性化に貢献されています。

まちづくり協議会会長でもあり、「多久市のまちづくりは身の丈に合ったまちづくりをすることが大事」と活動をされ、受章は「周りのみなさんのおかげです」と謙虚に喜びを語られました。

いしい じゅんじろう
石井 順二 郎氏

長年にわたり日本遺族会の組織運営に精励する者に対する功績で旭日双光章を受章されました。

平成9年から多久市遺族会会長、平成21年から日本遺族会常務理事、佐賀県遺族会会長に就任、遺族会の組織運営に尽力されています。受章には、「大変光栄です。みなさんのおかげです。」と話され、「親を亡くした子どもさんたちの苦勞、夫を亡くしたお母さんたちの苦勞は大変なものでした。当時の赤ちゃんが71歳になり、遺族会は、子の世代から孫の世代へ、継承をしていく人が少なくなってきています。」と戦争を知らない世代が増えてきていることを危惧されていました。今後「英霊の顕彰を続けたい」と語られました。

おおつか まさなお
大塚 正直氏

長年にわたり多久市議会議員をとおして地域の発展に精励した者に対する功績で、旭日双光章を受章されました。

多久市議会議員として16年間、辞職後は区長を4年間、そして現在ものぞみ保育園の理事長として尽力されています。議員時代には、特に多久市議会基本条例の策定に力を注がれ、大きな功績を残されました。「今回の受章を家族、特に子どもたちがとても喜んでくれました」と話され、また、「議員を辞める年度は、小中一貫校のこと、議会改革のことなど重要なことが多く充実していた」と当時のことを振り返り語られました。

ま
ち
の
わ
だ
い

sunday

5/14

手作りのおいしいピザを堪能しました

多久スポーツピア ピザ作り体験

多久スポーツピア会員の親睦を深めるために、納所交流センターでピザ作り体験（主催：多久スポーツピア）が行われました。

この日は、家族連れなど30人が参加。子どもたちも慣れない手つきで生地をこねたり、真剣なまなざしで材料を刻んでトッピングしたりピザ作りを体験しました。窯では、空いたスペースを活用して持ち込んだ芋を一緒に焼き、おいしい焼き芋も楽しみました。

出来上がったピザを味わい、参加者は「最初から自分で作ったので特別においしい」「ピザだけでなくほかにも作ってみたい」などと、大変満足した様子でした。



▲真剣な面持ちで生地をつくる参加者

▲慣れない包丁使いにドキドキの子どもたち